

## ■ダイバーシティって？

農環研では多様性に関する研究に昔から多くの方が関わっています。ですので、「ダイバーシティ」という単語も非常に身近ですし、すんなり入ってくる言葉だと思えます。今月は、この「ダイバーシティ」という単語が入った会議に2つ参加してきました。一つは、ダイバーシティサポートオフィス（DSO）の総会、もう一つは筑波大学ダイバーシティ推進室の会議です。「女性研究者支援」とか「男女共同参画」の担当ということは理解していたのですが、「ダイバーシティ」と言われると、「なぜに多様性？ 何の多様性？ 多様性をどうしたいんだ？」と最初は思いました。



調べてみると、ここでいう「ダイバーシティ」とは、「肌の色、言葉の違い、あるいは宗教、文化や考え方の違いによるあらゆる多様性を受け入れ、それぞれの能力が発揮できる職場環境を提供する...」だそうです。なるほど、そういうことなんですね。特に、国際企業を中心にそういう動きが進んでいるようです。グローバル・マーケットで成功するため、世界中から優秀な人材を採用するためには、戦略として取り組む必要があるということのようです。



農環研も確かに海外からの研究員等も受けれてはいますが、現時点ではダイバーシティ推進までは到達していないかなあと思います。そういう動きを頭の片隅に置きつつも、まずはできるところから取り組んでいきたいと思えます。

News Letter

7月

ダイバーシティ  
って何？号